

江戸の切り紙「紋切り」で知る文様文化

「紋切り」を楽しみ、うちわを作ろう。

紙を折りたたんで型紙の通りに切って開く。すると手の中に美しい日本の文様が舞い降ります。これが「紋切り」です。蔦屋重三郎の活躍した江戸時代、出版や戯作、浮世絵などの文化だけでなく「見立て」や「洒落」がいっぱいの文様の文化も花開きました。そんなお話をしながら、実際に「紋切り」をしてみましょう。できた和紙の紋切りを貼れば素敵なうちわの出来上がり。手を動かしながら暮らしの中で育ってきた日本の「かたち」の文化を味わいましょう。ワークショップ終了後はみなさんの作品も併せて展示します。

しもなかなぼ 下中菜穂

造形作家／もんきり、伝承切り紙、手仕事、歳時風俗などの研究著述／昭和のくらし博物館副館長

江戸時代の切り紙「もんきり」と出会い、暮らしの中で息づいてきた「切り紙」や伝統的な「かたち」や伝承行事などを研究。書籍の出版やワークショップ、展覧会などを通して私たちの今の暮らしの中に再編集しながら活かしていく活動を続ける。

作品展示：七月四日(金)～七月十三日(日)

ワークショップ：7月3日 木
18:30～20:30

参加費：500円

講師：下中菜穂(造形作家)

場所：大塚地域活動センターオープンスペース

対象：どなたでも

定員：24名

参加申込み→



文京区大塚 1-4-1 (※会場までの案内は裏面参照)

大塚地域活動センター開館時間

月～金 : 9:00～20:00

土日・祝 : 9:00～17:00

住所：文京区大塚 1-4-1 中央大学 茗荷谷キャンパス 2 階

申込・問合せ：大塚地域活動センター オープンスペース企画事務局

(運営：図書館流通センターサポート事業推進室 Myogadani Lab.)

E-mail: otsukaop@gmail.com



Oos のアクセス



文京区立大塚地域活動センター

〒112-0012 文京区大塚1丁目4番1号

電話 03-3947-2624

Oos

OTSUKA OPEN SPACE

大きくひらく、つながる場。